

第16回吹田市総合計画策定委員会議事概要

- 1 日 時 平成25年1月16日(水) 午後4時から午後5時20分まで
- 2 場 所 吹田市役所高層棟4階 特別会議室
- 3 出席者 別紙(出欠一覧)参照
- 4 配付資料 (1) 資料-1 基本計画の議決事件と施策指標・目標値について
(2) 資料-2 平成22年度(2010年度)吹田市市民意識調査 満足度指標
(3) 資料-3 主な分野別計画等一覧
(4) 資料-4 吹田市総合計画審議会(第2回)議事概要(未定稿)
(5) 資料-5 吹田市総合計画審議会 部会構成(案)
(6) 資料-6 吹田市第3次総合計画見直しスケジュール
(7) 資料-7 市民意見募集について
(8) 資料-8 職員意見募集について(案)
(9) 資料-9 市民説明会について(案)
(10) 参考資料 基本計画構成イメージ(案)

5 議事内容

(1) 総合計画基本計画の構成について

ア 指標・目標値について

資料-1、資料-2及び参考資料を用いて説明を行った。

イ 分野別計画との関連について

資料-3を用いて説明を行った。

【質疑応答事項】概要

質問1：参考資料では環境分野を取り上げているが、「まちのイメージ」すべてについて目標値は挙げられるのか。

回答1：資料-2にある市民意識調査での満足度の平均評価点を用いれば、数値で表すか矢印で表すかはあるが、ほとんどの分野で可能であると考えている。

質問2：目標値の算定の仕方はそれぞれ違うのか。参考資料にある「市民1人1日あたりのごみ排出量」の787gの根拠は何か。

回答2：違っている。それぞれの指標について、「目標値の考え方」のところに根拠を記載するように依頼している。指標の設定の目的は、到達点を示すことだけでなく、「目標値の考え方」の記載でもって、行政がどういう姿勢で臨んでいるかを示すことである。

質問3：作業部会での作業など現在の一連の進行状況はどうなっているのか。2月19日の総合計画審議会に示すのか。

回答3：1月17日でひととおりヒアリングが終了する。その後、関係所管が集まって協議するなどして作業部会で最終案を作り上げて、策定委員会に示したうえで、総合計画審議会に諮問していく流れを考えている。

意見4：指標・目標値を掲載することに関して各部局で様々な事情があると思うが、意見・質問があれば挙げていただきたい。

意見 5 : 下水道の分野の指標について、水路の整備率などの数字を挙げているが、財源の裏付けによるところが大きいので、矢印の方が好ましい。

意見 6 : 数値であれば、財源に大きく影響される指標が好ましいとは思わないが、現在の見通しに基づいた実現可能なものでなければならない。

意見 7 : 平成 32 年度までの見通しを立てて目標を立てるのは難しいと考える。

意見 8 : 目標値に関して、担当から上がってきた数値の根拠を聞くと、説明になっているのか、なっていないのか分からないものがある。数値化することが分かりやすいとはいうが、財源の裏付け以前に、数値の根拠の説明が非常に難しいと考える。

意見 9 : 例えば、達成は困難だが、保育所の待機児童数「0」というような究極の状態を目標としているケースがある。指標の使い方として、目標値と乖離した場合何が原因だったかを考えるためのものであるという考え方もある。必ず達成しないといけないというものではなく、行政としての姿勢を示していく1つのツールであるという考え方もある。

意見 10 : 待機児童数「0」は当然に目指すべきものであり、長期的にも指標として掲げられると思うが、そのようなものでなければ長期計画に目標値は難しいと考える。

回答 10 : 他市の事例で、すべて矢印で表現しているところもある。

意見 11 : 指標を掲載している事例が必要である。

意見 12 : ある分野で指標の目標達成のために取り組むことが、他の分野の指標の目標達成にも寄与するケースや、逆に、他の分野の指標の目標達成を阻害するケースが考えられる。関連する分野を考慮して、緻密に設定しないといけない。

回答 12 : そういった視点で検討することが、総合計画を策定する一番の意義であると考えている。指標ではないが、参考資料にある「6. 他の施策との連携」の部分が大切であると考えている。

質問 13 : 指標に関して、考え方のレベルの統一はできるのか。

回答 13 : 1つの水準を作るのではなく、目標値の考え方の中で何を目指しているのか伝われば良いかと考えている。

質問 14 : 指標があったとしても、設定の根拠が分からないと、分かりやすい計画とはいえないように思える。そのレベルを合わせるのが必要だと思うが、ヒアリングした中で可能であるか。

回答 14 : 参考資料にある「まちのイメージ」の状態になっているか否かを測るのに相応しいものという考えのもとで指標を設定していただき、ヒアリングでも伝えている。また、市民意識調査を再構築し、その調査の結果を新たな指標として用いれば、ある程度水準を統一していけるのではないかと考えている。

意見 15 : 資料-1 で「施策指標目標の掲載」が「 」となっている市はどうなっているのか状況を知りたい。

回答 15 : 次回になるが、資料をお示しする。

指示 16 : 指標の説明が施策ごとにバラバラでは良くないが、何も無いのはより好ましくなく、事務局としては、何らかの目標設定するのが望ましいと考えている。要点としては、分野別計画を縛らない、分野同士で整合性がとれている、財政的な裏付けを基にした

重点取組を示している、などが考えられる。懸念事項については、解消し、策定委員会です承を得たうえで、総合計画審議会に諮っていきたい。

事務局は施策ごとの指標のバランスの整理をすること。また、計画の構成に関する意見などは随時事務局へ伝えてほしい。

(2) 総合計画審議会について

ア 総合計画審議会（第2回）の結果報告について

平成25年1月7日に開催した総合計画審議会での議論の中で、行政で再検討が必要な内容が何点か挙がり、作業部会へ再検討を依頼していることなどを説明した。

イ 部会構成及び今後の審議予定について

資料-5、資料-6を用いて説明を行った。また、総合計画審議会の部会の開催にあたって、作業部会員のオブザーバーとしての出席を依頼した。

(3) その他

資料-7、資料-8及び資料-9を用いて今後のスケジュールの説明を行った。

1 委員

	構成委員	第16回 (1/16)
1	太田副市長	
2	山中副市長	
3	赤野水道事業管理者	
4	徳田病院事業管理者	
5	西川教育長	
6	赤松危機管理監	
7	牧内総務部長	
8	門脇行政経営部長	
9	木下市民生活部長	
10	木野内人権文化部長	
11	平野まち産業活性部長	
12	春藤こども部長	
13	安井福祉保健部長	
14	羽間環境部長	(代理) 後藤室長
15	森都市整備部長	
16	保田道路公園部長	(代理) 石橋次長
17	井口下水道部長	
18	西山会計管理者	
19	松中消防長	
20	川上水道部長	
21	坂田市民病院事務局長	
22	原田教育総務部長	
23	梶谷学校教育部長	
24	上原教育委員会事務局理事	
25	川下地域教育部長	

25

2 事務局

1	美馬次長企画政策室長兼務	
2	井尻次長	
3	木下総括参事	
4	岸本参事	
5	津田主査	
6	十川係員	
7	稲見係員	
8	藤田臨時雇用員	

8